



国土交通省 水管理・国土保全局
河川環境課 流水管理室
田中 里佳

ミズベリング

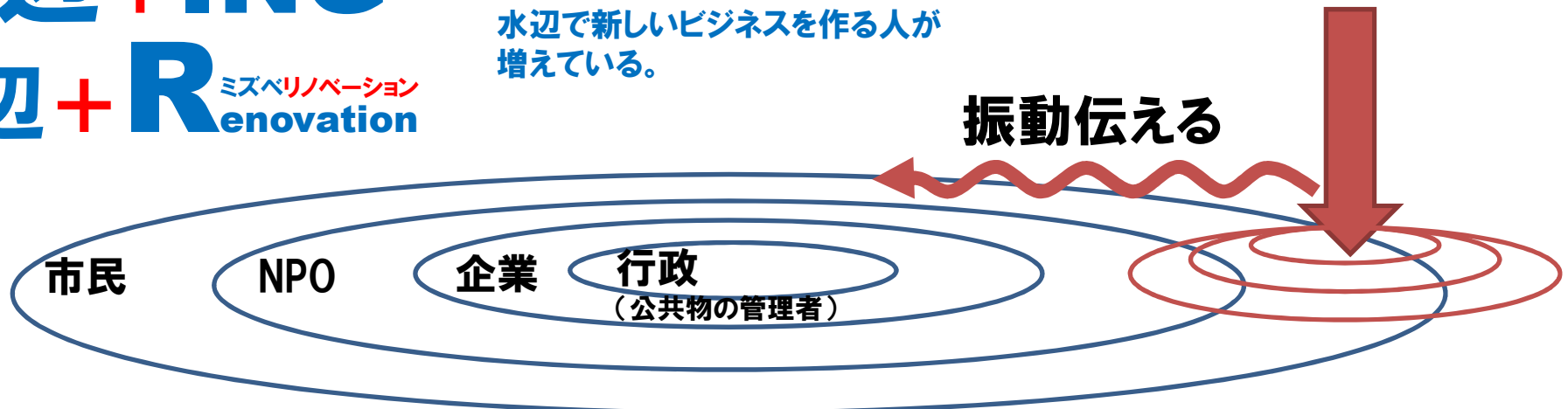
- 川には自然があり、歴史があり、そこに集う人々の心を安らげ、豊かにする魅力がある。川は地域の宝である。
- このような川の価値を更に生かすことで、その地域はもっと生き生きと、元気になることができる。
- まちの空間で日常的な生活や経済活動を営みながら、身近にある川をほとんど意識していない人々や民間企業がいる。「ミズベリング」とは、このような人々、企業に対し、川の外から改めて川の価値を見いだす機会を提供し、身近なニューフロンティアとして川を生かす取り組みである。
- 「ミズベリング」活動を通じて、多様な主体が相互に連携することで、新たなソーシャルデザインを生み出しながら、全国各地の水辺から地域活性化を実現していきましょう。

ミズベリング
水辺 + RING
ミズベイング
水辺 + ING
水辺 + R
ミズベリノベーション
Renovation

各地で生まれた小さな振動が
いま、大きなうねりになり
全国に広がっている。
そして、水辺を楽しむ人、
水辺で街を変える人、
水辺で新しいビジネスを作る人が
増えている。

ここから始める
(私が始める)

振動伝える



「光でつなぐ水辺で乾杯 in 天竜川流域+a」で天竜川が光の川に

- ミズベリングプロジェクトの「水辺で乾杯」に合わせ企画した「光でつなぐ水辺で乾杯 in 天竜川流域+a」に17ヶ所、301人が参加（7月5日～7月8日）
- 天竜川の水のつながりを共有し、当たり前に見える水や光への感謝を込めて乾杯！

④天竜川



④水辺で乾杯2019 in 天竜川
長野県高森町 × 天竜川上流河川事務所

⑥水窪川

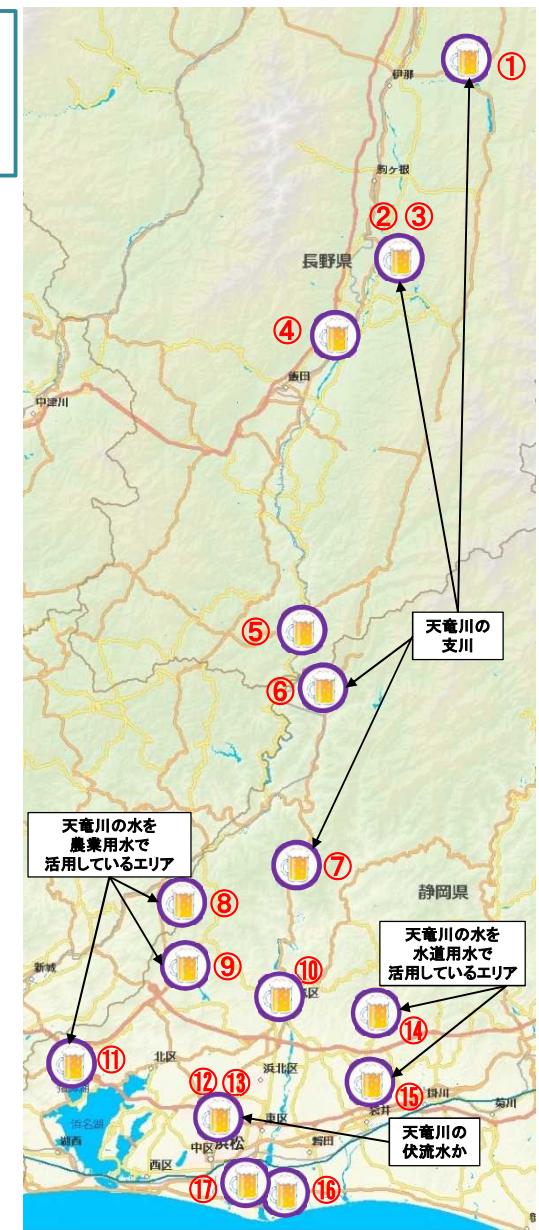


⑥ライオンカフェで乾杯
ライオンカフェ

⑪浜名湖



⑬馬込川水系新川

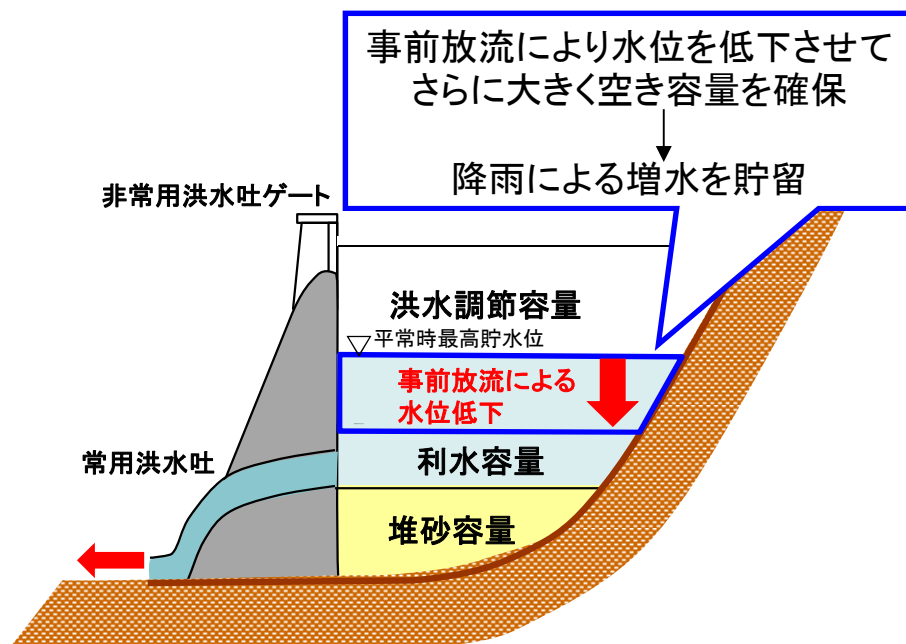


その後、友人と「大河のひかり ひかりでつなぐ天竜川」という曲をつくりました。

事前放流

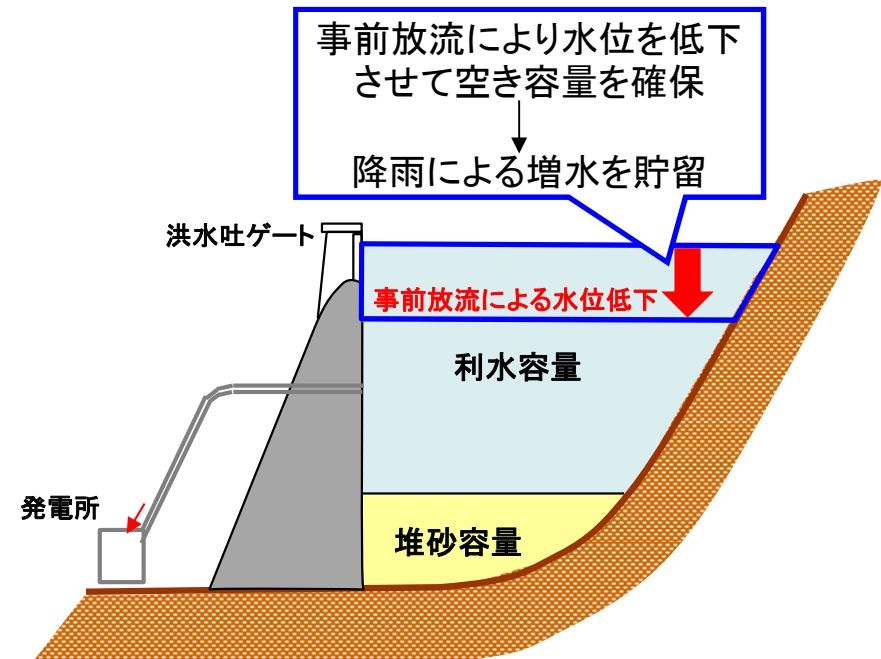
- 水力発電、農業用水、水道等のために確保されている容量も活用して、治水の計画規模や河川（河道）の施設能力を上回る洪水の発生時におけるダム下流河川の沿川における洪水被害を防止・軽減する取組を関係省庁と連携して実施。
- 水力発電、農業用水、水道等のために確保されている容量には、通常、水が貯められていることから、台風の接近などにより大雨となることが見込まれる場合に、大雨の時により多くの水をダムに貯められるよう、河川の水量が増える前にダムから放流して、一時的にダムの貯水位を下げ、「事前放流」を行う。

治水等(多目的)ダムにおける事前放流



事前放流により洪水調節が可能な時間をより長く確保
➡ ダムが満水になり流入量をそのまま放流することとなる異常洪水時防災操作を回避・軽減

利水ダムにおける事前放流



これまでの洪水を貯留する容量がなかったが、事前放流により可能な限り洪水を貯留

官民連携の新たな枠組によるハイブリッド・ダム

課題

水害の激甚化・頻発化 / カーボンニュートラル社会の実現 等

- ◆ 気候変動に適応した多目的ダム等の治水機能の強化を官民連携の新たな事業体制で実施するとともに、カーボンニュートラル（緩和）、地域振興との両立を図る。

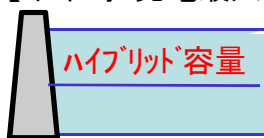
官民連携によるハイブリッド・ダムの展開

治水機能の強化（国等）



- ・運用高度化による治水への有効活用
- ・放流設備の改造・嵩上げ、堆砂対策

【平常時：発電最大化】 【洪水時：治水最大化】



気象・IT技術を活用した高度運用

水力発電の促進（民間）



- ・運用高度化等による安定した発電水量の確保
- ・発電施設の新設、増強
- ・ダム湖の冷水の活用

【発電設備例】



地域振興（民間・自治体）

- ・ダム周辺遊休地等の活用
- ・発生した電力を活用した地域振興

【地域振興例】
遊休地を活用した
太陽光発電 等



【電力の活用例】
・データセンター
・地域交通（電気バス）等



取組のポイント（従来との違い）

官民連携の強化

ダム事業の従来のプレイヤー

河川管理者（国、水機構）
利水者（発電、水道事業者等）
地元自治体 等



新たなプレイヤー

発電に新たに参画する企業
（例えば脱炭素に取り組む
企業等）

新たな事業体制の構築

例：SPC設置（発電に新たに参画する企業等）

治水機能強化とカーボンニュートラルへの貢献

例）気候変動に適応する洪水調節機能の増強や運用高度化等

【ハイブリッド容量の設定】

地域振興

例）参画企業が持続的な地域振興を現地で展開 【民間ノウハウ活用】

新たな投資の仕組み

例）発電容量に応じた資金負担ルール等の検討 【新しい資金調達方法】